

## 函館市観光アドバイザー会議 第2回第一部会 会議録

- 1 日 時 平成17年11月2日(水) 14:00~16:00
- 2 場 所 アクロス十字街 2階 会議室
- 3 参集者 ・星野部会長, 番匠委員, 折谷委員, 内村委員, 古川委員,  
石田委員 (欠席: 河内委員, 二本柳委員)  
・報道機関(函新)  
・事務局(坪谷室長, 川崎課長, 寺澤主事)
- 4 内 容
  - (1) 開 会
  - (2) 部会長挨拶 **星野会長**
  - (3) 資料説明 **寺澤主事**
  - (4) 討 議

### 【 コンベンション 】

#### 星野部会長

- ・本日は2回目と云うことで, 前回に引続き論議するわけだが, 前回時間のとれなかった「コンベンション」の方から先にやりたい。
- ・従前の観光客だけでなく, ビジネスや学校関係を誘致するために函館には何が必要かを議論させていただきたい。
- ・函館開催を検討した際, 施設の規模が合わないとか事務局を代行するところがないなどの問題点がある。
- ・市民会館には公演用(シアター形式)の大ホールがある他は, 3箇所ぐらいの小部屋があるが, 市民団体に多く利用されており予約が取りづらい状況にある。そのため, 施設としてはコンベンションに向かない施設である。

#### 折谷委員

- ・ホールの大きさが足りないとよく経済界では言われている。ニーズがあっても, 例えば2,000人入るホールがない時点で敬遠される。
- ・いろいろ議論もされてきたと思うが, なぜ建設されなかったのだろう。

#### 古川委員

- ・計画はこれまでされてきたと思う。競輪場建設時も屋内にするとかの議論が

あったが、採算性の面だとか利用率の面からだめになったと思う。

- ・旭川は観光地でもないのに、札幌に近くて交通の便がよいことや大きなホールがあることから多く利用されていると思う。函館なら観光地の要素も加わり需要もあると思う。

### 星野部会長

- ・単独のコンベンションだけで黒字に持っていくのは難しいと思う。大きな施設を作って埋まるとは思えない。波及効果を計数化して経済効果を計算しないといけないと思う。
- ・札幌の厚生年金会館などは、近くにロイトンホテルなど歩いていけるところに500人1000人規模のホテルがあって、食事もホテルでできるし、小さい会議ならホテルでできるような住み分けができています。
- ・大学を使うのも一つの方法だと思う。必ずしも大々的な施設を作らなくても、何が必要なのかを検討し、開催頻度などのマーケティングが必要だと思う。
- ・受け入れ側として何がかけているのか、何が必要なのか。1つには施設がない。では、規模が小さくなればできるかということホテルぐらいしか思いつかない。公共施設でそういうのをやるところがないので、既存のところを組み合わせながら総合的にできる方法は無いのか検討する必要があると思う。
- ・未来大でも学会をやるのだが、足がないとか土日食事をするところがないなど不便も多く、開催するにあたっての総合的なサポートを作り上げていく必要があると思う。

### 番匠委員

- ・競輪の時にどれくらい検討したのだろうか。マーケティングにしても人数、分科会数、日数などを調査し、開催できる大会がどれくらいかを見て採算性の検討をしていかななくてはならない。
- ・また、開催するにあたって事務局を代行できるところが必要だと思う。

### 古川委員

- ・現在のところ、コンベンション協会には事務局を代行できるだけのスタッフがいらない。必要があれば人数を増やすという考えもあるが、議論が必要だ。
- ・1年前でも金曜土曜日に市民会館が取れなかった。あと、函館には宿泊施設が2万2,3千人あるが、大きなホテルはほとんど空いていなかった。これ

は修学旅行が1年以上前から予約を入れているせいで、空いているようで実は空いていない。

- ・新幹線が8～10年で開通することを考えると、今からハード、ソフト（受け入れ態勢）の検討をしておかなくてはならない。

#### 折谷委員

- ・新幹線が開通すれば必ず交流人口が増える。8年後と言っても今から始めなければいけないと思うので、ここ1、2年が重要だと思う。また、青森が近くなることを考えると、30万人都市が連動していると考えられるので、新たな交流も生まれるのではないかと。

#### 内村委員

- ・この場のようにコンベンションの論議があちこちでなされていることが大事。マスコミさんも大いに取り上げてもらいたい。
- ・来年予定されているものでも、会議所の「観光振興大会」、青年会議所の「全同大会」、JTBの「杜の賑い」、薬剤師の「全道大会」など予定されている。

#### 折谷委員

- ・国際海洋都市構想には国際会議などを開ける施設も考えなければならないと思う。

#### 星野部会長

- ・コンベンションが、会議だけでなく観光目的や家族同伴であったりすることや、新幹線の開通により函館だけのマーケットが北東北まで広がる。北海道と東北をひとつのブロックにしたコンベンションは結構多い。利便性が高まることにより新たな需要が見込まれる可能性がある。そこらへんを計数化し、経済的な波及効果を考えて、やるならば早めに始めなければならない。
- ・コンベンションの現状について、情報提供やサポートサービスなど、他のコンベンションと比べて協会の体制は十分だと考えているか。

#### 内村委員

- ・パンフやポスターの提供はしているが、そこまでには至っていない。

### 番匠委員

- ・コンベンションを開催しようとする時、事務局が一番手間に思うのは、会場・宿の手配、食事、懇親会、観光ツアーの設定である。それらに忙殺され、肝心の学会の準備に手が回らないことがある。

### 古川委員

- ・需要と供給の関係で、お世話する大会が多ければ、そういう体制も必要となる。システムを作って、どのような需要があるのかシミュレーションしなくてはいけない。
- ・観光関係者は必ず欲しいと言う。新幹線効果により観光入込み数は必ず増え、宿泊所もコンベンション施設も必要になり、それに対応するものを作る必要がある。
- ・市民会館だって約35年建てており、今の状況に合っていない。地域として必要なものとして、誰がイニシアチブを取って、誰がシミュレーションを行うかを議論していかなければいけない。

### 折谷委員

- ・市民会館は市民のための会館であるので、文化活動や発表の場を制限するわけにはいかない。インフラ整備として、新たなものを作っていかなければならないと思う。

### 番匠委員

- ・NPO的（ボランティア）なものを考えていく必要もあるのではないか。

### 星野部会長

- ・札幌の知り合いの印刷屋が、コンベンションをサポートする業者の団体を作った。行政任せではなく、自分たちの飯の糧にそういう組織を作ってもいいと思う。
- ・コンベンションについて、もう一度原点に返って、見直す必要があるのではないか。

### 番匠委員

- ・全国でどこがどういうコンベンションを開いたか。参加人数、分科会、家族

- 同伴は？そのへんの数値を並べて採算性について議論しないとかがみ合わない。
- ・協会などが集約はしていないと思うが、個々の事務局に問い合わせれば分かると思う。

#### **古川委員**

- ・新幹線開通時期に向けて、コンベンションホールの建設を目指すには丁度いい時期だと思う。開通したときに、最大のホールが築40年もの市民会館で1,370人収容程度ではどうしようもない。この議論を大いに高める必要があると思う。

#### **石田委員**

- ・先日、ヴァイオリニストの葉加瀬太郎氏が市民会館を非常にアンティークなところだとおっしゃった。函館という街なのに何故？とショックを受けたようだ。

#### **星野部会長**

- ・湯の川活性化懇談会でもコンベンションの話が出ているが、市民会館は同じ湯の川のエリアであって、宿泊施設やホテルの小会議室を用意できるので、新しい誘致の目玉としている。

#### **番匠委員**

- ・駅前にも温泉付きのビジネスができ、個室対応できるしホテルを出れば飲食街もあるので、駅前の方がニーズがあるかも知れない。湯の川温泉も考えを改めて、現状に合わせたようなシステム作りを考えないといけないと思う。

#### **折谷委員**

- ・湯の川温泉も現状を踏まえた中で、新幹線からのアクセス問題やホールの建設、その活用の仕方などを検討しなければならない。

#### **星野部会長**

- ・旭川の大雪アリーナも普段はスケート場で活用し、コンベンションホールとしても使える。そのような形がいいと思うが。今ある施設（市民体育館など）を利用してそのようにはできないか。

### 古川委員

- ・できないことは無いと思うが、やはり体育館なのでスポーツで使用するのを優先させるべきだと思う。年に1回、2回ならともかく、頻繁にというわけにはいかない。

### 川崎課長

- ・函館もシアター形式ではなく、横浜国際会議場のように普段はホールとして使用できて、総会の時などは椅子を出し対応する多目的なアリーナ形式がいいと思う。

### 星野部会長

- ・多目的に使えるよう、間仕切りができるようにする必要はあると思う。
- ・大規模である必要はないけれど、今ある施設を何とか利用できないだろうか、リニューアルして使うとか・・・。
- ・縦割りではなく総合的に考えないといけないと思う。財政的なものもあるが投資なので・・・。お金のかかることだけを論議していても進まないと思う。新幹線が来た時のことを考えないと、不満足なことしか対応できない。結果的にお客を逃がしてしまうことになる。

### 内村委員

- ・市民会館を考えたときに、今の敷地に会館も体育館もというようにならないと思う。体育館はどこかに持って行って、市民会館は「市民会館」としてあるべきだと思う。そしてそれらは何処に建てるべきかも検討する必要があると思う。
- ・多目的に利用できることはいいのだけれど、ホールでは音響設備が不十分になるので、多目的はどうかなと思う。

### 番匠委員

- ・体育館はあそこがいいと思う。スポーツで来る場合の宿泊所には複数名で泊まることから、湯の川は向いていると思う。
- ・ところが市民会館は、市民がいくには不便だと思うので、体育館は現在地に建て替えし、市民会館をどこかに動かした方がよいと思う。

#### 古川委員

- ・新幹線がくるまで8年しかない。体育館と市民会館を両方つぶしてコンベンションホールを建てなければ中途半端なものできてしまうし、2つを壊して2つの事業として建てるとなると、今の財政状況では不可能に近いと思う。
- ・市民会館はそのままにして我慢して使ってもらって、コンベンションホールをどこか違うところに建てなければ間に合わないと思う。これが15年20年なるのなら別だが・・・。

#### 番匠委員

- ・港湾計画でJR函館駅裏に観光客を迎えられるような施設をとあるが・・・。

#### 古川委員

- ・でもそれは8年後までに何とかなるものではないと思う。やはり8年後を意識して、受け入れ態勢を整えることを目指さないといけない。

#### 折谷委員

- ・コンベンションホールを建てる場所によっては人の流れが大きく変わると思うので、こういう会議で十分検討する必要があると思う。

#### 星野部会長

- ・海洋都市構想の中にコンベンション施設建設の計画はないのか。

#### 古川委員

- ・あることはあるが大規模のものでなく「どつく」のところに研修施設建設の計画がある。しかしコンベンションの話ではない。

### 【 湯の川温泉活性化 】

#### 星野部会長

- ・お客が激減し、その理由として独自の魅力を発信してこなかったことや、部屋が個人客対応になっていないことなどが上げられているのだが、この会議では函館の観光全体として、湯の川をどう位置づけるのかというような論議をしたい。

- ・懇談会では、コンパクト、海岸の散策や温泉街の散策などによる温泉街の魅力付けなどが話題に出ており、前回のアドバイザーの会議では湯量が足りない（条例で新しく掘れない）なども話し合われた。

#### 折谷委員

- ・関連する地域の人たちが、知恵を出すなり努力なりを本当に行っているのか。内部努力をしているのだろうか？（危機感を強く持って、知恵をくれと言っている。組合として複数名参加している）
- ・外部資本のところも参加しているか？（観光ホテルは入っている）

#### 番匠委員

- ・最近旅番組が多いが、あれを見て来る客に、湯の川では温泉街というイメージを与えられない。なので、朝海岸を散歩できるとか、夜イカ釣りに行けるとか、自然に簡単に触れられるようなものがないと、湯の川温泉街のイメージを与えられないと思う。

#### 星野部会長

- ・昔のイメージは函館の奥座敷だったが、今では松倉川は草ぼうぼうで、魅力づくりや魅力を保全する取り組みが十分ではない。

#### 折谷委員

- ・松倉側との親水性をもたせるだとか風情を出す必要があると思う。また、新外からのアクセスが今で十分なのかだとかの議論はしているのだろうか。（湯倉神社前の電車通りなど）

#### 古川委員

- ・新外が空港まで来るので、それで十分ではないだろうか。空港からは5分だし。
- ・湯の川は温泉街としてコンパクトにまとまっているのではなく、住宅街の中にある温泉街なので、足湯などをして果たしてどれくらいの需要があるだろうか疑問に思う。無いよりはあった方がいいとは思いますが。

#### 石田委員

- ・市民に愛されていないと思う。前回、市民のマナーや高級感のことが話題にあったが、昔住んでいたところのオシャレなホテルは、スキーウエアを着て入っても笑顔で迎えてくれた。そうして愛されれば市民が全国的な広告塔になってくれると思う。市民に親しまれるようなことが必要だと思う。
- ・市民に愛されていないければ、観光客にもいくら施策を打っても空回りするだけだと思う。市民が支えなければ温泉は廃れていくと思う。

#### **番匠委員**

- ・湯の川には駐車場がないので、市内にあるいろいろな温泉に行ってしまう。

#### **星野部会長**

- ・懇談会でも市民が来るところでは無くなっていくという論議をしているが、市民に来てもらえるような仕組み作りを、もう一度しっかりやらなくてはいけないということになっている。

#### **折谷委員**

- ・他の温泉地の成功例を参考に、関係者みんなで考えていかないといけないと思う。

#### **内村委員**

- ・温泉地だけでなく、観光地全体が市民に愛されてなければいけない。
- ・浜を歩けるようにしても、中を覗かれるとか、それをお客が好むのか好まないのかを見極めないといけないと思う。
- ・足湯などはどこにでもある。論議が遅いように思う。湯量の問題もあるが・・・。
- ・湯巡りにしても、今ではどこにでもある。

#### **古川委員**

- ・湯の川温泉はハード的に難しい。湯巡りにしても、花びしからグランドまで歩くとなると相当遠い。

#### **川崎課長**

- ・次回全体会議を開催したいと考えており、それぞれの部会の意見を部会長と取りまとめをして、全体会議に報告したいと考えている。

- ・コンベンションに関しては、もう少し情報収集をしたいと思っている。ＪＣＣＢの集計や教育委員会の市民体育館の調査費などを調べたい。
- ・湯の川の活性化については、観光カリスマ鶴田浩一郎氏を招いて講演をいただき「やる気を出してやらなきゃだめだ」という意識を持っていただいたと思うが、懇談会やアドバイザーの意見も組合２８社の経営者全てに届いているのかどうか、湯の川の事務局を通じて組合に確認したいと思う。

#### 石田委員

- ・大沼の市民街づくり講座で、美しくないものは排除しなくてはならないという言葉にショックを受けて、なにが美しくないか市内をみたところ雑草だった。合同庁舎の前の街路樹の下がぼうぼうだった。本当に函館は汚い。
- ・人間の生命力のなえたところに雑草は生える。函館のイメージが汚いものになってしまう。市が音頭を取って雑草を抜くことから始めた方がいいと思う。
- ・交通標識が不親切であったり、万代町の交差点に函館駅方向から行った場合右折帯が設けられていないなど、細かいことだが、ホスピタリティがかけていると思う。

#### 星野部会長

- ・交通標識については、はこだて情報学研究会で市内の標識全部を調査するなど、動きがある。
- ・全体会議に向けて、今日いただいた意見を集約したいと思う。

#### 寺澤主事

- ・全体会議は池田が２１か２２日に帰ってくるので、そのときに全体会議を開催したいと思っている。次は夜開催の番だが、追って連絡したい。

#### (5) 閉 会